

【山崎主宰の俳句】

それゆえに

山崎 聰

尺蠖の寸余はみだすころざし
植田から湧き起りしは反戦歌
対岸がもつともさびし青時雨
暗い水のぞいて築の二三人
はつなつの不承不承のかすり傷
数人無口緑蔭を帰るとき
父の日の父と活断層の真上
栄光なし青田ひろがり三輪車
この先はいかようにもと山椒魚
しかしあるいはそれゆえに重信忌